

各文化会館（ホール）の特徴

ホール名	ホールの特徴
ウィンディアホール (音羽文化ホール)	可動式の観客席という特徴があって、いろいろな使い方が出来ます。地域の方に愛されているホールです。豊川市役所音羽庁舎と同じ建物内にあります。
ハートフルホール (御津文化会館)	ホールは、舞台の高さと観客の目線が演劇にはちょうど良い高さだと、演劇人には好評で、毎年恒例の東三河演劇祭など演劇利用の多いホールです。
フロイデンホール (小坂井文化会館)	オフホワイトの色調で統一されたゆったりとした空間。メインホールは500席、反響板をセットすると残響時間1.5秒～1.7秒と室内楽に最適となり、音響設備は高い評価を得ています。JR東海道本線「西小坂井」駅前にあります。
豊川市文化会館	1,328席と452席の2つのホールを擁する豊川市随一の文化会館です。開館して36年経過しているホールです。音楽会、講演会、演劇、舞踏等、多目的ホールとしての利用が多く、他にも150名の会議室などもあります。